・第7次十箇年計画に基づく地籍調査を推進し、進捗率を高める。

□ 縮小

□ 廃止検討

□ R6完了予定

□ R5完了

以降の

考え方

(担当課)

以降の

考え方

(担当課)

・第7次十箇年計画に基づく地籍調査を推進し、進捗率を高める。

市長査定

の考え方

·財務部査定のとおり

□ 縮小

□ 廃止検討

□ R7完了予定

□ R6完了

事業シ	·一ト(令和6年度決算)					25_森林政策認	.xlsx_2								
		会計	1 一般会計			子 - 20mm	<b>方向性</b> 1 こども	が健やかに育つための支	援、若者が活躍できる環境づく	U Hamalas A	++**/#=1:3	-			
事業名	21810 森林づくり交流推進事業費 予	款	2 総務費			重点戦略 7	ポイント (2) 夢や	希望が持てる環境づく	IJ	根拠計画森	<b>林登</b> 偏計世				
	算	項	1 総務管理費			分野別	な策分野 4 森林	・環境・エネルギー		市長公約					
担当課	森林·環境政策部 森林政策課 内線 2632	目	19 環境政策費			がまが、旅	策分野 (1) 森林	政策		可及互响					
1.事業(	の目的・概要(Plan)										総合計	画等 主な指標	R5実績	R6実績	R6目標
										二酸化炭素(0	CO2)削減量	量(年間)	未確定	未確定	-
目的	・幼児期から大人まで世代に応じた木育・森林環境教育により、森林に対し動をとることができる人づくりをすすめる。 ・都市部自治体との連携拡大により、森林整備によるカーボンオフセットや 普及啓発など、地球温暖化対策に資する森林づくりをすすめる。 ・森林環境譲与税の活用により、森林の有する公益的機能に関する普及を	木材利用、	- ひだオ ・千代E	遊館(西之- 3区との森林	-色町)を拠点 整備によるカ・	の出前授業による森林環 はとした全市域での木育イベーポンオフセットの取り組み 携による森林づくりの拡大	いた等の開催 、区市民の交流によ	5森林理解の醸成							
2.事業	の実施結果等(Do)								(千円)	4.令和7年	F度予算	[編成(Action)			(千円
				R5			Re		(117)		R7予		実施計画額		33,470
	歳出事業費		最終予算	ä	快算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)	増減 (b)-(a)	要求額	Į.	財務部査定額	市長査定額(d)	増減	(d)-(c)
	(職員人件費を除く)		7,7	33	7,230	29,860	29,860	24,077	16,847	4	40,260	31,470	33,470		3,610
	国費(	)													
特定財源	県費 ( 環境保全林整備事業、森と水の環境教育推進事業 等	)	4,0	00	4,352	6,000	6,000	4,845	493	I I	12,678	6,700	6,700		700
	その他(カーボン・オフセット事業費(千代田区)	)	1,3	00	1,025	1,250	1,250	1,466	441		2,261	2,250	2,250		1,000
一般則	<b>対源</b>		2,4	33	1,853	22,610	22,610	17,766	15,913		25,321	22,520	24,520		1,910
新規·拡充	主な事業内容									査定額	Į.		説明		
	千代田区との協定による森づくり(カーボンオフセット)		6,6	00	6,402	7,500	7,500	7,018	616	I	6,000				
O 1	千代田区との連携協定による交流事業の開催		1,0	83	778	1,750	1,750	1,641	863	1	4,000 高	山市林業体験ツアー	<b>\$</b>		
	みなとモデル二酸化炭素固定認証制度の推進			50	50				△ 50						
O 2	木育・森林環境教育の推進					9,600	9,600	4,937	4,937		8,000				
O 3	ひだ木遊館を拠点に実施する木育推進事業への支援					11,000	11,000	10,471	10,471		15,000 き	ふ木遊館サテライト施	設を拠点とした木育活	動支援	
										I I					
	※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があ	ります。			J					※入札に影響す	るため公開に	適さないなど、記載省略(	※)する場合があります。		
3.令和	5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施		<u> </u>	<u> 5.令和</u>	06年度事	「業実績、評価等(	Check) R7.8	<u>実施</u>	<u> </u>						
事業実績	・千代田区との協定による森林整備(除伐 16.81ha) ・千代田区連携イベントの開催 内容: ちよだ環境まつりでの木育ワークショップの実施 日時:6/17 場所: 千代田区役所 参加者: 約400人(プース来場者)			事業実	・千代田区 7/4 ち。 11/9 ち。 ・木育ワー	との協定による森林整備( 連携イベントの開催 ただ・たかやまの森交流ツフ よだ環境フェアでの木育ワークショップ等による木育・森 館木っずテラスを拠点に実	?—(一之宮町) 千代 ークショップの実施(千 林環境教育の推進(	代田区) ブース来場 回 257人参加	者約200人	担当課 ・プラ ・プラ ・プラ ・プラ ・プラ ・プラー・プラー・プラー・プラー・プラー・プラー・プラー・プラー・プラー・プラー	木育や森林	与税を活用した事業を 環境教育の推進に必引 携事業など、都市部と	要な経費を計上	づくりの推	進に必要な
	・千代田区との協定に基づく森林整備については、生育状況を考慮した適	切か委は数4	曲に トスカーギン			との協定に基づく森林整備 事業を進めることができた。		兄を考慮した適切な森	林整備によるカーボン						
評価等	・			評価等	・千代田区 りの理解配	事業を進めることができた。 連携交流事業では、高山下 態成が図られた。 一プンしたひだ木遊館木っ	市民と千代田区民のダ				責算内容を 学校等への	精査 出前授業開催事業につ	ついては、学校等との	周整を要す	るため0査
次年度 以降の 考え方 (担当課)	・千代田区との連携協定に基づき、更なる森林整備や交流の活性化を図り 炭素社会の実現を目指す。 ・既に交流のある自治体との連携を促進する。 ・ぎふ木遊館サテライト施設を拠点とした、木育・森林環境教育を推進する。	脱口口口口口口口口口口口口口口口口口口口口口口口口口口口口口口口口口口口口口口	維持·改善拡大 縮小 廃止検討 R5完了 R6完了予定	以降の考え方	会の実現で	との連携協定に基づき、森 5目指す。 のある自治体との連携を仮 館サテライト施設を拠点とし	産進する。		□ 維持·改善 □ 拡大 □ 縮小 □ 廃止検討 □ R6完了 □ R7完了予定		書質内容を	ング事業は53230林業担 精査 出前授業開催に必要な		実施	

25森林政策課.xlsx\_2 21810

事業名	21810 森林づくり交流推進事業費		□ R5新規 ☑ R6新規		会計	1	一般会計	担当課	森林•環境政策部 森林政策課
<b>学</b> 未也	1111	区分	□ R5拡充 □ R6拡充	<b>圣</b> 質	款	2	総務費	造山林	林竹 珠光跃火巾 林竹以水林
枝番·内容		区刀	□ その他重要事業	17 升	項	1	総務管理費	内線	2632
校苗 内谷	1 十11日区との建秀協定による文派争業の開催				B	19	環境政策費	作成年月	R7.8

#### 事業の目的・概要(Plan)

日的	・都市部の自治体や企業等との交流を通じて森林保全を行うとともに、都市部での地元産材の利用拡大や二酸化炭素削減につなげる。	概要	・千代田区との連携協定によるカーボンオフセット事業を推進するとともに、交流・連携を図る。
	加入で一般に灰糸門線につなりる。		

[参考] R5	決算(Do·C	heck)	R6.8時点	(千円)
予算額	当初			
	繰越			
	補正等			
	最終			
決算	草額			
対前年度増	減額(決算)			

[参考] R6:	当初予算(A	(ction	R6.3時点	(千円)				
予算額	当初			1,000				
主な経費	委託料							
対前年度増減	額(当初予算)			1,000				
※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり								

R6	決算(D	o•Check)	R7.8時点	(千円)
		当初		1,000
	予算額	繰越		
	7 昇 렍	補正等		
		最終		1,000
	決算	草額		1,191
	対前年度増	減額(決算)		1,191

R7当初予	算(Action)			(千円
予算額	当初			2,500
主な経費	委託料			
対前年度増減	額(当初予算)			1,500
※ 入 札 に 影響す	スための関に適	さたいたど	記載公略(※)する場	会あり

		事業実績	、評価等	
[事業実績]				
				維持·改善
次年度以降				
の考え方				
(担当課)	l			廃止検討

□ R5完了 □ R6完了予定

事業内容、スケジュール
事業内容、スケジュール  「事業内容]  千代田区連携イベントの開催  ちよだ・たかやまの森交流ツアー  日時: 7~8月  主催: 高山市、千代田区共催  場所: 高山市一之宮町(市有林、モンデウスパーク)  内容: 区市民を対象とした環境学習の提供  林業体験(千預)、木工体験(千後)  参加者: 千代田区民35人、高山市民25人
[スケジュール] 7~8月 高山市内でのイベント開催

		事業実績、評価等						
[事	業実績]							
	らよだ・たかや 日時:7月 主催:高山 場所:高山 内容:区市	ベントの開催 まの森交流ツアー 14日 山市、千代田区共催 山市一之宮町(市有林、モンデウス 方民を対象とした環境学習の提供 集体験(午前)、木工体験(午後) 千代田区民35人、高山市民25人	パーク	)				
	千代田区主催イベントへの参加 ちよだ環境フェア 日時:11月9日 主催:千代田区 場所:千代田区役所 内容:区民を対象とした環境学習の提供 参加者:約200人							
	価等] れぞれの住民	<b>に対し、連携事業の普及啓発を図</b>	ること	ができた。				
	灰年度以降 の考え方 (担当課)	・千代田区との連携協定に基づき、森林整備や交流の活性化を 図り、脱炭素社会の実現を目指す。		廃止検討				

	事業内容、スケジュール	
[事業内容]		
ちよだ・ただ 日時:8 主催:7 場所:7 内容:[	イベントの開催 やまの森交流ツアー 月3日 川山市、千代田区共催  山市一之宮町(市有林、モンデウスパーク)  市民を対象とした環境学習の提供  集集体験(午前)、木工体験(午後)  千代田区民35人、高山市民25人	
ちよだ環境 日時: 主催:- 場所:- 内容:[	イベントへの参加 1月8日 代田区 代田区役所 民を対象とした環境学習の提供 約200人	
[スケジュール	]	
	田区連携イベントの開催 田区主催イベントへの参加	

25\_森林政策課.xlsx\_3 21810-1

事業名	21810 森林づくり交流推進事業費		<ul><li>□ R5新規</li><li>□ R5拡充</li><li>□ R6拡充</li></ul>		会計	1	一般会計 総務費	担当課	森林·環境政策部 森林政策課
枝番・内容		区分	□ その他重要事業	予算	項	1	総務管理費	内線	2632
校备"内谷	2 木育・森林環境教育の推進				目	19	環境政策費	作成年月	R7.8

#### 事業の目的・概要(Plan)

・子どもから大人まで、木を身近に使っていくことを通じて、人と木や森との関わりを主体的に考えら 目的 概要 ・木育・森林環境教育を全市域へ推進するための木育イベント等を開催する。 れる心を育てる木育の取り組みを推進する。

	[参考] R5	決算(Do·C	heck)	R6.8時点	(千円)
		当初			
	予算額	繰越			
		補正等			
		最終			
	決算	草額			
	対前年度増	減額(油質)			

)	<b>[参考]R6</b> :	当初予算(A	(ction	R6.3時点	(千円)
	予算額	当初			9,600
	主な経費	委託料			
	対前年度増減	額(当初予算)			9,600
	※入札に影響す	るため公開に適	さないなど	、記載省略(※)す	る場合あり

	R6決算(D	o•Check)	R7.8時点	(千円)
		当初		9,600
	予算額	繰越		
		補正等		
		最終		9,600
	決算	草額		4,937
	対前年度増	減額(決算)		4,937
•				

R7当初予	算(Action)			(千円)
予算額	当初			8,000
主な経費	委託料			
対前年度増減	額(当初予算)			△ 1,600
※ 入 札 に 影響す	スための関に適	オたいたど	記載出略(※)す	ス提会なり

[評価等]	事業実績、評価等							
深価等]		争未	天視、計伽寺					
深価等]	[事業実績]							
□ 維持・改善 □ 拡大 □ 縮小								
<ul> <li>次年度以降のきる方</li> </ul>								
<ul> <li>次年度以降の考え方</li> </ul> (の考え方)								
<ul> <li>次年度以降の考え方</li> </ul> (の考え方)								
<ul> <li>次年度以降の考え方</li> </ul> (の考え方)								
次年度以降の考え方	評価等]							
次年度以降の考え方								
次年度以降の考え方								
次年度以降の考え方								
次年度以降の考え方								
次年度以降の考え方								
次年度以降の考え方								
次年度以降の考え方								
次年度以降の考え方								
次年度以降の考え方								
次年度以降の考え方								
次年度以降の考え方								
次年度以降の考え方								
次年度以降の考え方								
次年度以降の考え方								
次年度以降の考え方								
次年度以降の考え方				П	維持·改善			
次年度以降								
の考え方	次年度以降							
	の考え方 (担当課)			_				

□ R5完了 □ R6完了予定

事業内容、スケジュール
[事業内容] ①木育ワークショップ企画運営事業 ・地域の特色を生かした木育プログラムを木育団体と地元事業者 との共同により試行・開発する ②つどいの広場全市木育展開事業 ・乳幼児親子を対象に、ぎふ木育ひろばに指定されている市内12 か所のつどいの広場にて、定期的な木育プログラムを提供する。 ③どんぐりチャレンジ実施事業 ・幼児親子が森に入りどんぐりを拾うイベントを開催することで、木や森にふれる機会を創出する。
[スケジュール] 5月~3月 木育ワークショップ企画運営事業の実施っといの広場全市木育展開事業の実施9月~11月 どんぐりチャレンジ事業の実施

1124 to de 14 a b	hT / hL ##* \			1,00				
対前年度増減額	狼(決算)			4,937				
事業実績、評価等								
[事業実績] ①木育ワークショップ企画運営事業 イベントの開催 計3回(飛騨の里2回、清見1回) 参加者 計65人								
②つどいの広場全市木育展開事業 イベントの開催 計4回(丹生川、清見、久々野、国府各1回) 参加者 計98人								
③どんぐりチャレンジ実施事業 イベントの開催 計2回(ひだ木遊館) 参加者 計94人								
 [評価等] 木育団体や地元事業者等による様々な木育プログラムを開発・試行し、木 育や森林環境教育を市全域へ展開することができた。								
13 1 44111-14 2032113	C-17-27 22	.,,,, , ,	12.20					
	+ · + + - + ·	W = 1 % 1 5						
	き続き、市主作 により木育・森			維持·改善 拡大				
推: 次年度以降	進する。							
の考え方								
(+□ 11 =⊞)			, ,	//CTT-1X-01				
(担当課)			Ιп	R6完了				
(担当課)				R6完了 R7完了予定				

対前年度増減額(当初予算)	△ 1,60
※入札に影響するため公開に適	さないなど、記載省略(※)する場合あり
主業力2	卒. スケジュール
<b>事未</b> [1]	F(X/)21 //
[事業内容]	
(1)木育イベントの開催	
①木育ワークショップ企画運営	當事業
	育プログラムを木育団体と地元事業者
との共同により試行・開発	
②つどいの広場全市木育展開	『手来 ふ木育ひろばに指定されている市内12
	、定期的な木育プログラムを提供する。
③どんぐりチャレンジ実施事業	
	ぐりを拾うイベントを開催することで、木っ
森にふれる機会を創出す	-る。
(2)森林環境教育出前授業の開	Œ
	℡ との連携により、若年層への森林や林業
に対する興味・関心を高める	ことを目的に、保育園や幼稚園、小中学
校等を対象に出前授業を実	施する。
[スケジュール]	
9月~ 木育イベントの実施	
森林環境教育出前批	受業の開催

25\_森林政策課.xlsx\_4 21810-2

事業名	21810 森林づくり交流推進事業費		□ R5新規	✓ R6新規		会計	1	一般会計	担当課	森林•環境政策部 森林政策課
尹未石		区公	□ R5拡充	□ R6拡充	<b>圣</b> 笛	款	2	総務費	担当杯	林仲- 埃克以東印 林仲以来床
枝番·内容	3 ひだ木遊館を拠点に実施する木育推進事業への支援	71だま 逆鈴 女伽 与に 宇牧 オスナ 奈俊 准 事業 みの 主程			1/ 37-	項	1	総務管理費	内線	2632
校士 內谷	3 のに不避阻を拠点に実施する不同推進争来への又接					目	19	環境政策費	作成年月	R7.8

#### 事業の目的・概要(Plan)

TAVELS MACTORIAL							
	・子どもから大人まで、木を身近に使っていくことを通じて、人と木や森との関わりを主体的に考えられる心を育てる木育の取り組みを推進する。	概要	・令和6年度に開館する「ぎふ木遊館サテライト施設」を拠点とした木育活動に対する支援				

[参考] R5	決算(Do•C	heck)	R6.8時点	(千円)
	当初			
予算額	繰越			
了异创	補正等			
	最終			
決算				

	当初	
予算額	繰越	
17 开银	補正等	
	最終	
決算	草額	
対前年度増	減額(決算)	
		•

	事	業実績、評価	西等	
[事業実績]				
[評価等]				
次年度以降 の考え方 (担当課)				拡大 縮小

[参考] R6:	当初予算(A	ction)	R6.3時点	(千円)
予算額	当初			11,000
主な経費	補助金			
対前年度増減	額(当初予算)			11,000
	7.4 4.089(=)*	Aud 1 1 4 1 1 *	=1 ±4 /\cdo / \cdo / \cdo /	,

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業内容 フ <b>た</b> ギー リ
事業内容、スケジュール
[事業内容] ・補助金の名称 木育・森林環境教育推進事業補助金 ・事業主体 ぎふ木遊館サテライト施設運営事業者 9/10 ・補助対象経費 事業者がぎふ木遊館サテライト施設(ひだ木遊館木っずテラス)を拠点に実施する木育体験の支援事業、木育イベント(開館記念イベント含む。)の開催並びにボランティアスタッフの育成及び登録管理等の木育・森林環境教育を推進する事業に必要な経費
[スケジュール] 4月〜 申請、交付決定、事業実施 12月 ぎふ木遊館サテライト施設リニューアルオープン

R6決算(D	o•Check)	R7.8時点	(千円)
	当初		11,000
予算額	繰越		
了异创	補正等		
	最終		11,000
決算	<b>草額</b>		10,471
対前年度増	減額(決算)		10,471

す業実績	事業実績	事業実績、評価等 [事業実績] ・補助金の名称 木育・森林環境教育推進事業補助金	10,471
[事業実績] ・補助金の名称 木育・森林環境教育推進事業補助金 ・事業主体 ぎふ木遊館サテライト施設運営事業者 ・補助率等 9/10 ・補助対象経費 事業者がぎふ木遊館サテライト施設(ひだ木遊館木っずテラスを拠点に実施する木育体験の支援事業、木育イベント(開館記念イベント含む。)の開催並びにボランティアスタッフの育成及び登録管理等の木育・森林環境教育を推進を図ることができた。  「評価等」 ひだ木遊館(ぎふ木遊館サテライト施設)を拠点に、木育や森林環境教育の推進を図ることができた。  「関価等」の推進を図ることができた。  「調金・森林環境教育を推進する」 「連絡・大変・森林環境教育を推進する」 「「一般・大変・森林環境教育を推進する」 「一般・大変・森林環境教育を推進する」 「「一般・大変・森林環境教育を推進する」 「「一般・大変・森林環境教育を推進する」 「「一般・大変・森林環境教育を推進する」 「「一般・大変・森林環境教育・本様などの、本述などの	[事業実績] ・補助金の名称 木育・森林環境教育推進事業補助金 ・事業主体 ぎふ木遊館サテライト施設運営事業者 ・補助率等 9/10 ・補助対象経費 事業者がぎふ木遊館サテライト施設(ひだ木遊館木っずテラスを拠点に実施する木育体験の支援事業、木育イベント(開館記念イベント含む。)の開催並びにボランティアスタッフの育成及び登録管理等の木育・森林環境教育を推進を図ることができた。  「評価等」 ひだ木遊館(ぎふ木遊館サテライト施設)を拠点に、木育や森林環境教育の推進を図ることができた。  「関価等」の推進を図ることができた。  「調金・森林環境教育を推進する」 「連絡・大変・森林環境教育を推進する」 「「一般・大変・森林環境教育を推進する」 「一般・大変・森林環境教育を推進する」 「「一般・大変・森林環境教育を推進する」 「「一般・大変・森林環境教育を推進する」 「「一般・大変・森林環境教育を推進する」 「「一般・大変・森林環境教育・本様などの、本述などの	[事業実績] ・補助金の名称 木育・森林環境教育推進事業補助金	
[事業実績] ・補助金の名称 木育・森林環境教育推進事業補助金 ・事業主体 ぎふ木遊館サテライト施設運営事業者 ・補助率等 9/10 ・補助対象経費 事業者がぎふ木遊館サテライト施設(ひだ木遊館木っずテラスを拠点に実施する木育体験の支援事業、木育イベント(開館記念イベント含む。)の開催並びにボランティアスタッフの育成及び登録管理等の木育・森林環境教育を推進を図ることができた。  「評価等」 ひだ木遊館(ぎふ木遊館サテライト施設)を拠点に、木育や森林環境教育の推進を図ることができた。  「関価等」の推進を図ることができた。  「調金・森林環境教育を推進する」 「連絡・大変・森林環境教育を推進する」 「「一般・大変・森林環境教育を推進する」 「一般・大変・森林環境教育を推進する」 「「一般・大変・森林環境教育を推進する」 「「一般・大変・森林環境教育を推進する」 「「一般・大変・森林環境教育を推進する」 「「一般・大変・森林環境教育・本様などの、本述などの	[事業実績] ・補助金の名称 木育・森林環境教育推進事業補助金 ・事業主体 ぎふ木遊館サテライト施設運営事業者 ・補助率等 9/10 ・補助対象経費 事業者がぎふ木遊館サテライト施設(ひだ木遊館木っずテラスを拠点に実施する木育体験の支援事業、木育イベント(開館記念イベント含む。)の開催並びにボランティアスタッフの育成及び登録管理等の木育・森林環境教育を推進を図ることができた。  「評価等」 ひだ木遊館(ぎふ木遊館サテライト施設)を拠点に、木育や森林環境教育の推進を図ることができた。  「関価等」の推進を図ることができた。  「調金・森林環境教育を推進する」 「連絡・大変・森林環境教育を推進する」 「「一般・大変・森林環境教育を推進する」 「一般・大変・森林環境教育を推進する」 「「一般・大変・森林環境教育を推進する」 「「一般・大変・森林環境教育を推進する」 「「一般・大変・森林環境教育を推進する」 「「一般・大変・森林環境教育・本様などの、本述などの	[事業実績] ・補助金の名称 木育・森林環境教育推進事業補助金	
・補助金の名称 木育・森林環境教育推進事業補助金・事業主体 ぎふ木遊館サテライト施設運営事業者 9/10 ・補助対象経費 事業者がぎふ木遊館サテライト施設(ひだ木遊館木っずテラスを拠点に実施する木育体験の支援事業、木育イベント開館記念イベント合む。)の開催並びにボランディアスタッフの育成及び登録管理等の木育・森林環境教育を推進する事業に必要な経費 5,355人(11月~3月) [評価等] ひだ木遊館(ぎふ木遊館サテライト施設)を拠点に、木育や森林環境教育の推進を図ることができた。    次年度以降の考え方(担当課)   引き続き、ひだ木遊館(ぎふ木 遊館サテライト施設)を拠点に、木育や森林環境教育の推進を図ることができた。   ② 維持・改善遊館サテライト施設)を拠点に、木育・森林環境教育を推進する   添木   ② 上	・補助金の名称 木育・森林環境教育推進事業補助金・事業主体 ぎふ木遊館サテライト施設運営事業者 9/10 ・補助対象経費 事業者がぎふ木遊館サテライト施設(ひだ木遊館木っずテラスを拠点に実施する木育体験の支援事業 木育イベント開館記念イベントを1。の開権近びにボランディアスタッフの育成及び登録管理等の木育・森林環境教育を推進する事業に必要な経費 5,355人(11月~3月) [評価等] ひだ木遊館(ぎふ木遊館サテライト施設)を拠点に、木育や森林環境教育の推進を図ることができた。    次年度以降の考え方(担当課)   引き続き、ひだ木遊館(ぎふ木 遊館サテライト施設)を拠点に、木育・森林環境教育の推進を図ることができた。   ② 維持・改善遊館サテライト施設)を拠点に、木育・森林環境教育を推進する   添木   □ 旅小   廃止検討   廃・上検討   原・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	<ul><li>補助金の名称 木育・森林環境教育推進事業補助金</li></ul>	
遊館サテライト施設)を拠点に、 木育・森林環境教育を推進する の考え方 (担当課) 協・森林環境教育を推進する ・ 縮・	遊館サテライト施設)を拠点に、 木育・森林環境教育を推進する の考え方 (担当課) 協館サテライト施設)を拠点に、 木育・森林環境教育を推進する 縮小 原止検討	・補助率等 9/10 ・補助率等 事業者がぎふ木遊館サテライト施設(しずテラスを拠点に実施する木育体験の育イベント(開館記念イベント含む。)の開ンティアスタッフの育成及び登録管理等環境教育を推進する事業に必要な経費・入館者数 5,355人(11月~3月)  [評価等] いだ木遊館(ぎふ木遊館サテライト施設)を拠点に、木育・	いだ木遊館木っ 支援事業、木 昇催並びにボラ の木育・森林
		遊館サテライト施設)を拠点に、	拡大

R7当初予	算(Action)	(千円)
予算額	当初	15,000
主な経費	補助金	
対前年度増減	額(当初予算)	4,000

	予算額	当初	15,000
	主な経費	補助金	
	対前年度増減	額(当初予算)	4,000
,	※入札に影響す	るため公開に適	さないなど、記載省略(※)する場合あり
		事業内容	容、スケジュール
	[事業内容]		

对前年度增減額(当初予算	4,000
※入札に影響するため公開に	に適さないなど、記載省略(※)する場合あり
事業	内容、スケジュール
・補助率等 9/10 ・補助対象経費 事業者が ずテラスと 育イベント( ンティック 環境教育を	環境教育推進事業補助金 官サテライト施設運営事業者 ぎふ木遊館サテライト施設(ひだ木遊館木っ 拠点に実施する木育体験の支援事業、木 開館記念イベント含む。)の開催並びにボラッフの育成及び登録管理等の木育・森林 推進する事業に必要な経費 00人(4月~3月)
[スケジュール] 4月~ 申請、交付決定	·、事業実施

25\_森林政策課.xlsx\_5 21810-3

事業シー	-1-(	(	6年	度決	·笡)

事業シ	·一ト(令和6年度決算)																
		会計	1 一般会言	t			重	点戦略 —	方向性			根拠計	+画				
事業名	21830 匠の家づくり支援事業費   予算	款 項	2 総務費 1 総務管理	用弗			総合計画 —	<b>*</b>	ペイント								
担当課	森林·環境政策部 森林政策課 内線 2632	目	19 環境政策				5.		策分野 策分野			市長公	公約				
	の目的・概要 (Plan)		11 11 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20					,,,,					松本	計画等 主な指標		R5実績	R6実績 R6目標
小尹木											1	代採さ:	れた木材の利用			64%	算定中 50%
												市産材		· <del>-</del>			
- A							産材の使用に	対する補助				山涯物				1.2101113/ 4	1,276113/ 4 2,000113/ 2
目的	・市産材を使用した木造建築を促進し、市産材の利用拡大を図る。 				建設促進事 宅協会への		八の補助										
												. L					
2.事業(	の実施結果等(Do)		ı	_	R5					R6	(千円)	4.令		算編成 (Action)		T de T	(千円
	歳出事業費		最終予2		決算	[ (a)	当初予算	(c)	最終予算	決算 (b)	増減 (b)-(a)	1	要求額	予算 財務部査定額	実施計		増減 (d)-(c)
	(職員人件費を除く)			88,450	12.121	23,275		35,250	35,25				0		11-24-127	0	△ 35,250
	国費(	)										1					
特定財源		)		250		0											
	その他(	)										!					
一般則	 		3	88,200		23,275	3	35,250	35,25	23,205	△ 70		0	0		0	△ 35,250
新規·拡充	主な事業内容												査定額		説明	FI.	
O 1	匠の家づくりに対する助成		3	32,500		19,466	2	29,700	29,70	19,461	△ 5			53265市産材利用推進	事業費へ		
	東濃桧と飛驒の杉の家づくり支援事業			5,000		3,109		4,000	4,000	2,694	△ 415			R6年度事業終了			
	高山・中津川林業・木材産業連携協議会負担金			500		500		500	500	500	0			R6年度事業終了			
	みなと森と水ネットワーク会議負担金							50	50	50	50	İ					
O 2	広葉樹材利用の推進							800	80	300	300	-					
												1					
- 4	※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があ	ります。		-								※入札に	こ影響するため公開	開に適さないなど、記載省略(	(※)する場合か	ぶあります。	
3.令和:	5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施			¬!ı	5.令和6	年度事	<b>莱芙積、</b>	泮価等(	Check) R7	.8実施	——▼———						
				i								i					
	・匠の家づくり支援事業補助金 (建築主市内建築型)64棟(市外建築型)15	姉(古産材	1 050 m²)	i		・匠の家づく	り支援事業補助	助金 (建築		棟(市外建築型)12棟 ,142㎡) うち内装材2棟	(38 1 m²)	担当		全材利用推進事業費 へ約 金材利用推進事業費 へ約	吉合		
事業実績	・東濃桧と飛騨の杉の家づくり支援事業補助金(中津川市連携事業)35棟			1	事業実績		R騨の杉の家づ 用シンポジウム		業補助金 (中津川	市連携事業)29棟(市産		ポイン					
						"囚未倒心!	カンハン・ノム	の所惟 参	加有 /3人								
				i													
				_ ;													
						- a	/// <del>*</del>		***	- T T + /		-					
評価等	・匠の家づくり支援事業により、木造建築物への市産材の活用につながった	=.				・広葉樹シン				の活用につながった。 D関係者の理解醸成や選	直携強化を図ることがで	日十五年	÷n.				
						きた。						財務	の・要求どお	Ŋ			
			<b>維快.か</b> 差	_ !							□ 維持,改善	考え	ח				
, <u>, , , , , , , , , , , , , , , , , , </u>	・匠の家づくり支援事業については補助対象に内装材を追加し、市内及び「		維持·改善 拡大			・匠の家づく	り支援事業に	ついては補助	助対象に内装材を	追加し、市内及び中京	☑ 維持·改善 □ 拡大						
次年度 以降の	圏を中心に市産材の利用拡大を促進する。	に市産材の利用拡大を促進する。  「			□ 縮小		・財務部査定のとおり										
考え方 (担当課)	をもって東濃桧と飛騨の杉の家づくり補助金を終了する。		廃止検討	i		をもって東源	農桧と飛騨の杉	の家づくりネ	E携励定の期间の 補助金を終了する。		□ 廃止検討	市長査の考え					
— WIT	・市産広葉樹材の利用拡大を図る。		R5完了			・币産広葉植	樹材の利用拡え	てを凶る。			□ R6完了						
			R6完了予定								□ R7完了予定						

25\_森林政策課.xlsx\_6 21830

事業名	21830 匠の家づくり支援事業費		□ R5新規	□ R6新規		会計	1	一般会計	担当課	森林·環境政策部 森林政策課	
尹木石	争未有 21030 匹の家 スペッス 仮争未負	区分	□ R5拡充	☑ R6拡充	<b>圣</b> 質	款	2	総務費	担当体	林怀- 垛圾以来即 林怀以来林	
枝番・内容 1 匠の家づくり	1 匠の家づくりに対する助成	区刀	□ その他重要事業	ŧ	), <del>21.</del>	項	1	総務管理費	内線	2632	
权钳 内谷	1 匠の家 スペタに対する助成					目	19	環境政策費	作成年月	R7.8	

#### 事業の目的・概要(Plan)

・豊かな森林資源を保有する高山市において、市産材の使用を促進し、森林整備の促進、建築及 目的 び住宅産業全般の活性化を図る。

概要

・<市内建築主(市内)型>主な構造材と内装材への市産材の使用量に応じ、構造材1㎡あたり2万円、内装材1㎡あたり2千円の合計額を建築主に助成(上限30万円)
・<市内建築主(市外)型><市外建築主型>主な構造材と内装材への市産材の使用量に応じ、構造材1㎡あたり2万円、内装材1㎡あたり2千円の合計額を上限として、建築事業者が建築主に贈 呈する目的で市産家具等の木製品を購入した費用を建築事業者に助成(上限30万円)

(千円) 29,700

[参考] R5	决算(Do•C	heck)	R6.8時点	(千円)
	当初			32,500
予算額	繰越			0
了异创	補正等			0
	最終			32,500
決算	草額			19,466
対前年度増	減額(決算)			△ 8,064

[参考] R6:	当初予算(A	ction)	R6.3時点	(千円)
予算額	当初			29,700
主な経費	•補助金			
対前年度増減	額(当初予算)			△ 2,800
※入札に影響す	るため公開に適	さないなど、	、記載省略(※)す	トる場合あり

補助事業名:匠の家づくり支援事業 (補助単価) 構造材 20千円/㎡ (限度額) 300千円  [事業実績] ・補助件数 79棟 ・市産材利用量 1,059㎡  次年度以降 の考え方 (担当課) (担当課)	事業実績、評価等						
・補助件数 79棟 ・市産材利用量 1,059㎡  構造材に加え内装材を補助対象に追加し市産材の利用拡大を図る  次年度以降の考え方(担当課)  構造材に加え内装材を補助対象に追加し市産材の利用拡大を図る 拡大 縮小 廃止検討 RS完了	・木造建築物の主な構造材への市産材の使用に対する助成の実施 補助事業名:匠の家づくり支援事業 (補助単価) 構造材 20千円/㎡ (限度額)						
象に追加し市産材の利用拡大を 図る							
象に追加し市産材の利用拡大を 図る							
象に追加し市産材の利用拡大を 図る							
象に追加し市産材の利用拡大を 図る							
象に追加し市産材の利用拡大を 図る							
次年度以降 の考え方 (担当課)							
R5完了	次年度以降の考え方	□縮小					
□ R6完了予定		□ R5完了					

木造建築物の主な構造材への市産材の使用に対する助成の実施 補助事業名: 匠の家づくり支援事業 (補助単価) 構造材 20千円/㎡ 内装材 2千円/㎡ (限度額) 300千円
タケジュール]

予算額	繰越			
了异创	補正等			
	最終			29,700
決算	額			19,461
対前年度増	減額(決算)			△ 5
		•		
	事業	実績、評価等		
補助助事単二 報報 報報 報報 報報 報報 報報 報報 報報 報報 到	匠の家づくり支援 10千円/㎡ 2千円/㎡ 78 用量 1,142 1の活用 2 利面積 38.	棟 mi 2棟 1 mi )への市産材の活	用を図	ることができた。
次年度以降 の考え方 (担当課)	引き続き、構造4 補助対象とし、† 大を図る			維持·改善拡大縮小 廃止検討 R6完了

R6決算(Do Check) R7.8時点

当初

R7当初予	算(Action)			(千円)
予算額	当初			
主な経費				
対前年度増減	額(当初予算)			
NA 3 THE DOMEST	7 1 11 11 11 11 11 11	Laborate 18	+b /b=b /-1-7.10	A 4 11

	事業内容、スケジュール	
[事業内容]		
[スケジュール]		

25\_森林政策課.xlsx\_7 21830-1

□ R7完了予定

事業名	21830 匠の家づくり支援事業		□ R5新規	Ø	R6新規		会計	1	一般会計	担当課	森林•環境政策部 森林政策課
尹未石	21000 世の外ノバケス版事本	区分	□ R5拡充		R6拡充	<b>文</b> 質	款	2	総務費	担当床	林怀 環境収束即 林怀以東床
枝番·内容	2 広葉樹材利用の推進	区刀	□ その他重要事業	ŧ		l, <del>M</del>	項	1	総務管理費	内線	2632
仅田-171日	2						目	19	環境政策費	作成年月	R7.8

#### 事業の目的・概要(Plan)

デボジロ(I) 「M(女() Fidil)							
目的	・家具や木製品などの付加価値の高い用材としての市産広葉樹材の利用を推進を図る。	概要	・市産材広葉樹利用促進シンポジウム開催事業				

<u>[参考]R5</u>	決算(Do•C	heck)	R6.8時点	(千円)
	当初			
予算額	繰越			
了异创	補正等			
	最終			
決算	草額			
対前年度増	減額(決算)			

<u> </u>	当初予算(A	(ction	R6.3時点	(千円)		
予算額	当初			800		
主な経費	委託料					
対前年度増減	額(当初予算)			800		
※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり						

R6決算(De	o•Check)	R7.8時点	(千円)		
	当初		800		
予算額	繰越				
了异般	補正等				
	最終		800		
決算	額		300		
対前年度増	減額(決算)		300		

R7当初予	算(Action)		(千円
予算額	当初		
主な経費			
対前年度増減	額(当初予算)		
ン 1 H /- 早/郷子	てためい問に済	ナナンハナンに	司 # 少   1   1   1   1   1   1   1   1   1

			善
次年度以降			

□ R5完了

□ R6完了予定

がいいにからう むたい Apric 歴じるい るこ、記載 目記 (水/ ) も切 目の )
事業内容、スケジュール
[事業内容] 市産材広葉樹利用促進シンポジウム、現地研修会等の開催 ・目的 市産材広葉樹の利用拡大を図る ・対象 企業、団体、個人 ・内容 講演会、現地研修会 ・飛騨市との共催を予定
[スケジュール] 10月 シンボジウム開催(予定)

対前年度増減額(決算)	300
事業	実績、評価等
[事業実績] 市産材広葉樹利用促進シンポ・目的 市産材広葉樹の利用・対象 企業・団体・個人・内容 講演会の開催:10月2日・飛驒市、白川村との共催によとして実施)	拡大を図る 0日 参加者75人
[評価等] 川上から川下までの関係者の理	解醸成や連携強化を図ることができた。

引き続き、市産広葉樹材の利用 拡大を図るため、関係者の連携 強化を図る。

次年度以降

の考え方 (担当課)

	事業内容、スケジュール	
[事業内容]		
チボハモ」		
[スケジュール]		

25.森林政策課xlsx\_8

☑ 維持·改善 □ 拡大

□ 縮小

□ 廃止検討

□ R7完了予定

□ R6完了

25	森林	砂等	<b>鯉</b> 、	lev	a	

事業シ	・一ト(令和6年度決算)						•	20_4411134	крк.хізх_о									
<b>事</b> 要々	53100 林道管理事業費	会計	1 一般会 5 農林水					重点戦略	方向性ポイント				根拠	計画森林整備計	画、過疎地域持続的発	展計画		
事業名	53100	予 款 算 項	3 林業費				総合計画			产業学術	動プロモーション							
担当課	森林·環境政策部 森林政策課 内線 2234	目	1 林業総					分野別	施策分野 (1				市長	公約				
		П	· macao	127.54					11 (I	/ JACAN 111	· 从 田庄木		_	60 A =1	<b>三佐 土火北</b> 塘	pertiet	Dom/#	D004
1.争耒(	の目的・概要(Plan)														画等 主な指標	R5実績	R6実績	R6目標
													-	生産量		92,765m <sup>2</sup>	算定中	149,000m
													伐採	された木材の利用型	<u> </u>	64%	算定中	50%
目的	・林道の計画的な維持・修繕を図る。		概要・	林道パト	ロール等を迫	通じて林道破	損箇所の情	報を集め、	修繕・機能強化	を行う。								
の 車 巻/												()	. L	≥和7年度系统	算編成(Action)	\		(千円)
2. 尹未(	//关心和未守(D0/				R5					R6		(千円)	4.7	7 <b>747 十尺 了</b> R7予		実施計画額		65,650
	歳出事業費		最終予			享 (a)	当初予	算 (c)	最終予算		決算 (b)	增減 (b)-(a)	1	要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減	(d)-(c)
	(職員人件費を除く)		-	55,995		55,752		34,150		4,150	31,767		-	65,650	65,650	65,650		31,500
	国費(	)		_ 5,500		55,752		2 ., 100		.,	01,707		: -	30,000	55,550	33,300		5.,000
杜中时还				070		070		070		270	204	110	-	070	204	20.4		111
付正財源	県費 ( 県移譲事務交付金	)		272		278		278		278	394		<u> </u>	278	394	394		116
	その他(敷地占用料	)		300		606		300		300	309		!	309	300	300		0
一般則	tiņ			55,423		54,868		33,572	3	3,572	31,064	△ 23,804	i 🗀	65,063	64,956	64,956		31,384
新規·拡充	主な事業内容													査定額		説明		
	林道の修繕工事			49,702		49,621		26,500	2	6,500	24,520	△ 25,101		56,600				
	林道の維持管理			3,000		2,894		7,000		7,000	6,678	3,784		8,400				
													i					
													¦ —					
													<u> </u>					
	※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合	<b>◇</b> ₩≠Ⅱ±±											×1+	1 /- 以郷ナス+- 九八円/	こ適さないなど、記載省略(	(×)ナス担合がもU±ナ		
	※下版は主な事業内容を扱き出じたものであり、計が版出事業質に一致じない場だ 5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施	<b>ゴかめりま</b> り。		:	5 会和	6年 庄 車	类字结	部体生	(Check)	D7 09	E 165		. ***	心に影音するにめ公用!	- 週さないなど、記載自略(	、次)9 句場古かめりまり。		
3. TD 作LC	一尺争未关模、計圖寺(Uneck) K0.0关心			¬ ;	5. 丁 和	0年及争	未天限、	一种一种	F(Uneck)	K/.03	天心							
				- 1														
													担	当課 ·森林環境諍	長の現を活用した事業を	を実施		
事業実績	· 林道修繕工事 53件 · 林道管理委託 15件			1	事業実績	<ul><li>林道修繕</li><li>林道管理</li></ul>	工事 31件 委託 27件						予算	・適正な林道	《与祝を沽用した事業を 管理費に必要な経費を	を計上		
				1									H					
				- :														
評価等	・定期的な林道パトロールにより、計画的な維持・修繕を図ることがで	きた。		- 1	評価等	・定期的な	林道パトロー	・ルにより、言	計画的な維持・	修繕を図る	ことができた。		 	Z/ <del>y</del> trn				
														務部 定の ・積算内容を	精査			
				- 1									考:	え方				
			維持·改善									☑ 維持·改善						
次年度			拡大	1	次年度							□ 拡大						
以降の 考え方	・林道の適正な管理のため、継続して修繕を行う。		縮小		以降の 考え方	・林道の適	正な管理のた	とめ、継続し	て修繕を行う。			編小	市長	·財務部査定	このとおり			
ちん刀 (担当課)		_	廃止検討 R5完了	i	(担当課)							□ 廃止検討 □ R6完了		え方				
			R5完了 R6完了予定	i								□ R6完了 □ R7完了予定	i					
			ハッルリアル															

25.森林政策課xlsx\_9

事業シ	・一ト(令和6年度決算)					25_森林政策	t詸.xlsx_10									
事業名	53200 市有林整備事業費	会計	1 一般会計 5 農林水産業 3 林業費	# <u></u>	総合計画	分野別		_	働プロモーション		根拠計画	森林整備計	画			
担当課	森林·環境政策部 森林政策課 内線 2233	目	2 林業振興費			73 ±1 73	施策分野	1) 農業・林	林業・畜産業		17.及五小					
1.事業(	の目的・概要(Plan)											総合計	画等 主な指標	R5実約	R6実績	R6目相
目的	・市の基本財産の造成、地域林業の振興、国土の保全等を図る。			林を適正に管理するた 林を活用し、建設業者					二実施する。		木材生産量	木材の利用	率	92,7651	9定中 9定中	_
の車業の	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □										. L	7年度又	算編成(Action)	\		(千月
2. 争未(	グ夫応和朱守(D0)			R5				R6		(千円)	4. TO 174	<b>/ 十/支 ]/</b> - R7予		実施計画額	$\blacksquare$	11,3
	歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算 12,9	決算 (a)	当初 <sup>3</sup>	予算 (c) 13,300	最終予		決算 (b) 8,478	増減 (b)-(a)  △ 1,881	要求	<b>找額</b>	財務部査定額 11,330	市長査定額(d)		或 (d)-(c) △ 1,9
	国費(	)							·				-			
特定財源	県費 ( 市有林整備事業費 10/10	)	3,2	00 2	,681	4,400		4,400	2,530	△ 151		2,023	2,000	2,00	0	△ 2,40
		)	1,9		.956	300		300	872		i	365	100	1(	0	Δ 20
一般則			7,7	51 2	,722	8,600		8,600	5,076	2,354	i	8,962	9,230	9,23	0	63
新規·拡充	主な事業内容		,			,				,	查	定額	,	説明		
	市有林の整備工事		9,2	00 6	.999	8,000		8,000	4,428	△ 2,571	1	6.800	保育間伐ほか			
									<u>-</u>		!					
	※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場	合があります。									※入札に影響	響するため公開	に適さないなど、記載省略(	※)する場合があります		
3.令和5	5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施		$\downarrow$	5.令和6年	<b>隻事業実績</b>	ī、評価等	(Check)	R7.8	実施	. ↓						
	・開伐 8.81ha(一之宮) ・間伐 0.50ha(丹生川) ・作業道修繕 3件			事業実績・間付・作業							担当課予算要求ポイント	-適正な市有	5林管理に必要な経費を	<b>岩計上</b>		
評価等	・適正な施業により、基本財産の造成、地域林業の活性化が図られた	•		評価等 ・適立	Eな施業により、暑	基本財産の造	ī成、地域林業	の活性化だ	『図られた。		財務部査定の考え方	・積算内容を	特查			
次年度 以降の 考え方 (担当課)	・市有林の適正な管理方法について、林業事業体等への長期委託を	進める。 □ □	維持·改善 拡大 縮小 廃止検討 R5完了 R6宗了予定	次年度以降の考え方(担当課)	<b>す林の適正な管</b> 理	重方法につい	て、林業事業に	本等への長	期委託を進める。	☑ 維持·改善 □ 拡大 □ 縮小 □ 廃止検討 □ R6完了	市長査定の考え方	•財務部査定	<b>このとおり</b>			

25\_森林政策課.xlsx\_10 53200

事業シ	 今和6	在	度法	(首,

ナイノ														
					会計	1	一般会計		重点戦略	方向位	ŧ		±⊟ +bn =	画森林整備計画
事業名	53210 緑の保全事業費			予	款	5	農林水産業費	総合計画	里从拟昭	ポイン	٢		仅是	四 林外金狮引回
				算	項	3	林業費	今日日田	分野別	政策分	野 5	産業労働プロモーション	市長公	×41
担当課	森林·環境政策部 森林政策課	内線	2235		目	2	林業振興費		ノリモアかり	施策分	野 (1)	農業・林業・畜産業	111 15 2	ניא
	,										_	-		•

#### 1.事業の目的・概要(Plan)

・必要な森林施業を適切に実施することにより、森林を健全な状態に保ち、水源かん養 目的 機能の向上や木材利用の促進、災害に強い森林づくりを促進する。

・間伐などの国・県が所管する造林補助事業に、嵩上げして助成 ・間伐材の搬出利用を促進するため、市場等までの運搬費に対して助成

・国県制度において、補助対象とならない規模の小さい森林施業に対して、市単独事業により助成

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R6目標
木材生産量	92,765m²	算定中	149,000m³
伐採された木材の利用率	64%	算定中	50%
市補助を活用した間伐材搬出量	9,147m3/年	9,173m3/年	12,000m3/年
市補助を活用した未利用材搬出量	9,072m3/年	9,926m3/年	12,000m3/年

2 事業の宝施結里等(Da)

		R	5		Re	3	
	歳出事業費 (職員人件費を除く)	最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)	増減 (b)-(a)
	(柳泉八田貝CWV)	66,000	60,949	66,150	66,150	57,514	△ 3,43
	国費 ( 緑の保全事業費 1/2 )	1,600	1,600	1,600	1,600	1,600	(
特定財源	県費 ( 緑の保全事業費 1/2、森林整備地域活動支援事業費 3/4 )	6,300	3,082	6,500	6,500	2,857	Δ 22
	その他(緑の基金収入、緑の基金繰入金)	2,498	1,488	2,494	2,494	1,367	Δ 12
一般則	, 打源	55,602	54,779	55,556	55,556	51,690	△ 3,08
新規·拡充	主な事業内容						
	間伐に対する助成	17,000	23,289	18,000	18,000	18,202	△ 5,08
	間伐材利用に対する助成	12,000	10,848	12,000	12,000	11,003	15
	未利用資源活用に対する助成	21,000	18,211	21,000	21,000	19,653	1,44
	自伐林家型の森林整備に対する助成	5,000	1,439	5,000	5,000	1,157	Δ 28

次年度

(担当課)

□ R6完了予定

(エ田) 4 **令和7年度予管組成(Astics)** 

<u>4.</u> 令和7年度予	算編成(Action	)	(千円)
R7-	予算	実施計画額	36,750
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
66,760	36,750	36,750	△ 29,400
1,600	1,600	1,600	0
5,505	5,550	5,550	△ 950
1,938	0	48	△ 2,446
57,717	29,600	29,552	△ 26,004
査定額		説明	
18,000			
0	53265市産材利用推進	事業費へ移行	
0	53265市産材利用推進	事業費へ移行	
4,000			
※ 3 封に影響するための問	リー・本ナナ・ハナ・ビーラーサールのタ	(N/) + 7 H A 4/ + 11 + +	

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

	TO TO TO TO THE TO THE TO THE TOTAL	
事業実績	・間伐事業 288.74ha ・間伐作業道開設事業 5.426m ・軽作業道開設事業 5.426m ・軽作業道開設事業 2.000m ・間伐材利用促進事業 9.147㎡ ・未利用資源活用促進事業(集運型 9.072㎡) ・自伐林家型地域森林整備事業 6.92ha ・人工造林 20.32ha ・下刈 22.14ha ・森林整備地域活動支援事業 63.00ha(森林経営計画の作成促進)	
評価等	・作業道を高密度に開設し、作業の効率化、間伐材の搬出、利用促進が図られた ・森林整備地域活動支援事業により支援することで森林経営計画の作成が促進さ	
次年度 以降の 考え方 (担当課)	・緑の保全事業を継続し、森林経営計画による森林整備を促進する。 ・人工造林(植栽)施業を促進し、森林の公益的機能の向上及び脱炭素化を推進する。	<ul><li>✓ 維持·改善</li><li>拡大</li><li>縮小</li><li>廃止検討</li><li>□ R5完了</li></ul>

5.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

・間伐事業 270.45ha ·間伐作業道開設事業 5,594m ·軽作業道開設事業 2,000m ·間伐材利用促進事業 9,173㎡ 事業実績 ·未利用資源活用促進事業(集運型 9,926㎡) ·自伐林家型地域森林整備事業 3.83ha ·人工造林 12.60ha ·下刈 36.69ha ·森林整備地域活動支援事業 14.37ha(森林経営計画の作成促進) 作業道を高密度に開設し、作業の効率化、間伐材の搬出、利用促進が図られた。 評価等 ・森林整備地域活動支援事業により支援することで森林経営計画の作成が促進された。

・緑の保全事業を継続し、森林経営計画による森林整備を促進する。 以降の ・人工造林(植裁)施業を促進し、森林の公益的機能の向上及び脱炭素化を推 准する 進する。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

ポイント

担当課 予算要求 ・森林環境譲与税を活用した事業を実施 ・森林整備促進に必要な経費を計上

 考え方	<ul> <li>・積算内容を精査         <ul> <li>・間伐材利用促進事業及び未利用資源活用促進事業については、53265未利用材推進事業費へ移行</li> </ul> </li> </ul>	
市長査定 の考え方	・積算内容を精査	

25\_森林政策課.xlsx\_11 53210

☑ 維持·改善 □ 拡大

□ 廃止検討

□ R7完了予定

□ R6完了

□ 縮小

事業シ	ート(令和6年度決算)

事業シ	・一ト(令和6年度決算)							23	5_森林政策部	未.XISX_1Z									
				会計	1 一般会計				重点戦略 -	方向性 2 地	域活動や産	産業、福祉など様々な	分野における人への投資	相伽計画	<b>杏廿敕/</b> 農計	画、高山市移住定住戦	吹		
事業名	53230 林業担い手育成事業費		予		5 農林水産	業費		総合計画	± /// 72.70	ポイント (2) 地	域の元気	で支える未来の技	旦い手づくり	AKJEHI EI	AW JULIE MED I				
			算		3 林業費				分野別 🗀			・プロモーション		市長公約		業に携わるなら「飛騨高		•	
担当課	森林・環境政策部 森林政策課	内線 2631		目	2 林業振興	!費			ħ	施策分野 (1) 農	業・林業・	・畜産業			農杯飴旌	業における就業支援を引	1111		
1.事業(	の目的・概要(Plan)														総合言	十画等 主な指標	R5実績	R6実績	R6目標
														森林技術	<b>者数</b>		170	未確定	200人
	・魅力ある林業の情報発信や新規就業者の研修	久制 帝汗 田 かどに トス	杰廿廿年	5老の奈															
目的	成確保を図る。			1401	概要·高	山市に	おける林業等の担い手	の確保・育成											
	・美しい森林づくりイベントの実施による森林・林	業への意識の醸成を	図る。																
2 車業(													(千円)	4 会和	7年度予	算編成(Action)	)		(千円)
<u></u>						F	25				R6		( <del>TH</del> )	7. 12.11	R7-		実施計画額		6,498
	歳出事業費				最終予算	Į	決算 (a)	当初予算	算 (c)	最終予算		決算 (b)	増減 (b)-(a)	要	求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減	(d)-(c)
	(職員人件費を除く)					4,198	3,420		4,148	4,1	48	2,368	△ 1,052		4,598	6,498	6,498		2,350
	国費(			)															
特定財源	県費 ( 林業就業移住支援事業費 3/4			)		1,500	1,350		1,500	1,5	00	1,200	△ 150		1,950	1,500	1,500		0
	その他(			)															
一般則						2,698	2,070		2,648	2,6	48	1,168	△ 902		2,648	4,998	4,998		2,350
新規·拡充	主な事業内	]容												查	定額		説明		
	森林技術者の育成確保					248	248		248	2	48	248	0		248	県林業労働力確保支援	センター負担金		
	林業就業の促進					450	282		400	4	00	232	△ 50		250	森林就業ガイダンス			
	林業担い手学生支援事業					1,500	1,090		1,500	1,5	00	288	△ 802		1,500	県立森林アカデミー学生	Eに対する助成		
	林業就業移住支援事業					2,000	1,800		2,000	2,0	00	1,600	△ 200		2,000	林業就業移住者に対す	る助成		
	森の担い手マッチング事業														2,500				
	※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳	出事業費に一致しない場	合がありま	す。							-			※入札に影響	響するため公開	に適さないなど、記載省略(	※)する場合があります。		
3.令和5	年度事業実績、評価等(Check	)R6.8実施			<u> </u>	_ i	5.令和6年度事	業実績、	評価等	(Check) R	7.8実別	施	<u> </u>						
						Ιi							1						
						H							li						
		###. <b>-</b> #-	* # o # i=		u = 2 = 4 4 #	ĺ	÷+	0 ± # +1#3	立かのよう!	+ 白 旧 土 末 共 本 //		0#4.2I-H	by 251 = 21 車を27 車	担当課		譲与税を活用した事業を 文化アカデミーの学生に		<b>트た経費を</b> 動	4 F
事業実績	・高山市での就業・起業意欲のある岐阜県立森 を補助した。				この安な経費		事業実績 を補助した						、修学に必要な経費	予算要求ポイント		市内林業事業体への就			
	・県外から高山市に移住し、林業事業体に就業し	した移住者3名に支援	を行った。	。(単身)			・県外から	高山市に移住	:し、林業事業	業体に就業した移 <sup>・</sup>	主者2名に	三支援を行った。(重	単身及び世帯)		Ė				
						1													
						- :							<u> </u>						
・市内で不足する森林技術者等の確保に効果があった。						Hi	評価等・市内で不	足する森林技	術者等の確	保に効果があった				財務部					
														査定の考え方	・積算内容 ・森の担い	を精査 手マッチング事業につい	ては21810森林づくりな	を流推進事業	業費より移
				[] 4	推持·改善	- ;							□ 維持·改善	577	行	多住支援事業についてに			
				<b>1</b>									☑ 拡大		11小木机未	ッエス汲尹木についてに	シット「田安」を目的でなり、1つ	∾ബ⊺⊂ ഉ	,
次年度 以降の	・移住による林業就業への支援や、岐阜県立森	林文化アカデミーの	学生への値	l — .						岐阜県立森林文化 ごにより市内の林			□縮小		·財務部查2	定のとおり			
考え方 (担当課)	学支援などにより市内の林業技術者の確保を図	図る。			廃止検討 25字了	!	考え方(担当課)		ノノンソはと	_により川内の外き	大汉州1日2	こらら林の信い	□ 廃止検討	市長査定の考え方					

□ R5完了

□ R6完了予定

25\_森林政策課.xlsx\_12 53230

□ R6完了

□ R7完了予定

事業シ	ート(令和6年度決算)					25_森材	k政策課.xlsx_13									
事業名	53240 林道整備事業費		1 一般会計 5 農林水産業引 3 林業費	₿		重点單	ボイント   政策分野	5 畜産・労	労働・プロモーション			森林整備計	画、過疎地域持続的発	展計画		
担当課	森林·環境政策部 森林政策課 内線 2234	目	2 林業振興費			分野	施策分野	(1) 農業・ホ	木業・畜産業		市長公約					
1.事業(	の目的・概要(Plan)											総合計	画等 主な指標	R5実績	R6実績	R6目標
											木材生産量	ŧ		92,765m³	算定中	149,000m
目的	・旧緑資源幹線林道(大規模林道)の建設促進を図る。 ・林道の早期完成を図る。 ・林道改良の推進を図る。					負担金を支出する。 改良を実施する。					伐採された	木材の利用≌	<b>E</b>	64%	算定中	50%
2 車業/	D実施結果等(Do)									(T.B.)	4 会和7	7年度予1	算編成(Action)	)		(千円)
<u>4. 于木、</u>	7天心和不守(D0)			R5				R6		(千円)	7. TJ 4TH A	<b>干汉了</b> R7予		実施計画額		141,522
	歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算		決算 (a)	当初予算 (c)	最終	<b>冬予算</b>	決算 (b)	增減 (b)-(a)	要求	<b></b>	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(	(d)-(c)
	(職員八計員で除人)		40,9	86	37,131	53,1	150	53,150	26,326	△ 10,805		172,122	141,522	141,522		88,372
	国費(	)									il					
特定財源	県費 ( 林道改良事業費 1/2、6/10、2/3	)	20,3	00	19,271	26,5	500	26,500	11,253	△ 8,018	i	99,553	80,600	80,600		54,100
	その他(地方債	)										40,000	28,000	28,000		28,000
一般則	, 排源		20,6	86	17,860	26,6	650	26,650	15,073	△ 2,787	1	32,569	32,922	32,922		6,272
新規·拡充	主な事業内容										查定	定額		説明		
	林道橋りょう点検		5,0	00	4,620	9,5	500	9,500	5,146	526	i	5,200				
	林道八幡・高山線宮・高山区間建設事業負担金		5,0	00	4,698	6,8	350	6,850	3,573	△ 1,125		6,500				
	林道改良工事費		27,6	00	26,622	23,5	500	23,500	4,587	△ 22,035		119,000 #	木道橋梁改良工事(イワ	フス橋、PCB廃棄)ほか		
	大規模林道賦課金元利補給金		5	76	575	4	429	429	428	△ 147	!	411				
	測量等委託費					10,0	000	10,000	9,790	9,790	i	8,000				
	※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合が	あります。				II.	!				※入札に影響	響するため公開	に適さないなど、記載省略(	※)する場合があります。		
3.令和5	年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施			<u>5.令</u>	·和6年度事	業実績、評価	西等(Chec	k) R7.8	<u>実施</u>	<u> </u>						
事業実績	・林道宮・高山線整備済延長 10,114m ・宮・高山線事業負担金の支払い (県事業費の5%) ・受益者組合への補助金交付 1組合 ・林道改良工事の実施 (上宝)双六〜瀬戸線 L=20.0m (国府)宮谷〜明ヶ谷線 L=455.0m ・林道橋りょう点検 9橋			事業:	·宮·高山紅 ·受益者組 ·林道改良	高山線整備済延長 線事業負担金の支持 合への補助金交付 エ事の実施 八E よう点検 12橋	払い (県事業 1組合				担当課予算要求ポイント	-林道の改良	及び開設等に必要な結	经費を計上		
	・林道宮・高山線は、森林整備の目的だけでなく、一之宮地域と高山地域	を結ぶ基幹道	としても期待され		•林道宮•清	高山線は、森林整備	前の目的だけでな	なく、一之宮地は	域と高山地域を結ぶる	<b>基幹道としても期待され</b>						
評価等	ているため、早期完成を実現できるよう事業を進める。 ・林道の改良により、森林の整備及び通行の安全を確保することができた		□ 評価等 ているため			できるよう事業を 修備及び通行の	進める。					精査 事内容を精査 特殊業務となるため通	『搬委託を追加			
次年度 以降の 考え方 (担当課)	・林道宮・高山線については、引き続き、県の代行事業による林道開設を。 ・ ・安全な通行を確保するため、引き続き、計画的に林道改良や橋りょう点行う。 ・林道橋の補修を行い長寿命化を進める。	進める□□検等を□□□□	維持·改善拡大 拡大 縮小 廃止検討 R5完了	   次年   以路 考え   (担当	度。 の・安全な通 方行う。		、引き続き、計画		る林道開設を進める や橋りょう点検等を	<ul><li>✓ 維持·改善</li><li>/ 拡大</li><li>/ 縮小</li><li>/ 廃止検討</li><li>/ R6完了</li></ul>	市長査定の考え方	•財務部査定	このとおり			
			R6完了予定							□ R7完了予定						

25\_森林政策課.xlsx\_13 53240

尹未ノ	一个(卫州0十段庆异)																		
			会計	1 一般	会計			重点戦略	方向性				担物計画	赤廿敕冼計	画、過疎地域持続的発	用計画			
事業名	53250 生活環境保全林管理事業費	予	款	5 農林	水産業費		総合計画		ポイント				10000011四	林竹生 岬口	四、四味地域可称的先	灰印圖			
		算	項	3 林業			WO II II II	分野別		_	環境・エネルギー		市長公約						
担当課	森林·環境政策部 森林政策課 内線 2632		目	2 林業	振興費			73 21 73 1	施策分野 (1)	森林政	策		11.22.113						
1.事業(	の目的・概要(Plan)													総合計	画等 主な指標		R5実績	R6実績	R6目標
															され、林業・木材産業が	「活性化し	40.6%	42.1%	7
													ている」と思	感じている市民	その割合				
	・保健・保全機能の発揮される森林の整備をするとともに、森林の植ち	生観察	等を通じ、		・生活環境保全林の活用による森林・林業への意識の醸成														
	情操のかん養及び自然保護思想の高揚を図り、自然と共生する地域 林を市民の財産として将来に継承する。	はづくり	に寄与し山	概要		保全林の整備によ			ж.										
	<b>杯を印成の別座として行木に松承する。</b>																		
o == ===	5.中华社园体(S.)												4.0.50	- <del> </del>	***********************				(
2. 事業(	D実施結果等(Do)											(千円)	4. 令和		算編成(Action)		T-0.T		(千円)
	歳出事業費			= 46		R5	N/ ÷m	マケ / \	日仙又姓	R6		124 5-4 (1 ) ( )	700	R7予		実施計画		1845-6	16,466
	(職員人件費を除く)			<b>取</b> 終	予算	決算 (a)		予算 (c)	最終予算		決算 (b)	増減 (b)-(a)	安	求額	財務部査定額	市長査定			(d)-(c)
					24,033	19,5	06	21,654	21	,654	16,620	△ 2,886		16,520	16,466		16,466		△ 5,188
	国費(		)																
特定財源	県費 ( 生活環境保全林整備事業費 1/2、10/10		)		14,650	10,7	71	4,500		,500	4,300	△ 6,471		2,870	2,850		2,850		△ 1,650
	その他(生活環境保全林施設使用雑入、生活環境保全林施設建)	物貸付	- λ Δητ.								848	848		2,753	2,753		2,753		2,753
én P		1,7,201	/		0.000	0.	0.5	17154	4-	154			-				- +		
一般則				9,383	8,7	35	17,154	17	,154	11,472	2,737		10,897	10,863		10,863		△ 6,291	
新規·拡充	主な事業内容												查	定額		説明			
	施設の維持管理			4,733	4,3	29	10,654	10	,654	6,280	1,951		9,466						
	施設の修繕			9,300	7,5	09	11,000	11	,000	10,340	2,831		7,000						
	観光景観林整備				10,000	7,6	68					△ 7,668							
	MEN ON ME I.I. TE IM				10,000	,,,	00					2 7,000							
	※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場	合があり	ります。										※入札に影響	響するため公開	に適さないなど、記載省略(	※)する場合が	あります。		
3. 令和5	6年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施			$\downarrow$	1	5.令和6年度	事業実績	1. 評価等	(Check)	R7.8	宇施	↓ ·							
о. ја дро						о. <sub>13</sub> чдо — 23	· T ~ ~ ~ 15	(	r (Onlook)	117.0	<u> </u>	<u> </u>							
					i														
	・生活環境保全林の利用者数 125,392人					. 生活	環境保全林の₹	印字粉 1	20 522 1				担当課		. A II - WILLES				
事業実績	<ul><li>・遊歩道等施設のある生活環境保全林(清見3箇所、荘川1箇所、朝所)について、利用者の安全を確保するため、定期的な点検や草刈り</li></ul>				箇!	事業実績 · 遊歩	重等施設のある	5生活環境保	全林(清見3箇所		1箇所、朝日1箇所、高		予算要求 ポイント	・生沽環境(	R全林の維持管理を行う。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ために必要	な経費を計	·F	
	・観光景観林整備(除間伐 7.21ha)	7 47 07 11	唯四日年で	11 2/20		所)に	いて、利用者	の安全を確保	くするため、定期	的な点板	<b>食や草刈り等の維持管</b>	理を行った。							
					- i														
					Ηi														
					- 1														
					- 1														
	・遊歩道の管理や施設の修繕等適正な管理により、市民や観光客等	に対し	、安全に自	然とふれあ	う場を	•遊歩	直の管理や施記	役の修繕等適	正な管理により、	市民や	観光客等に対し、安全	に自然とふれあう場を							
提供できた。 ・老朽化する施設を計画的に修繕を行う必要がある。					l i	評価等 提供で		画的に修繕	を行う必要がある	10			財務部						
	・利用者の増加に向けた普及啓発を強化する必要がある。								を強化する必要				査定の	<ul><li>積算内容を</li></ul>	精査				
					1								考え方						
			$\square$	維持·改善								☑ 維持·改善							
次年度	・遊歩道等の適切な維持管理を行う。			拡大		次年度 、	*** - *** - * · ·	* 14 <del>**</del> *	_			□ 拡大							
以隆の	<ul><li>計画的な施設の修繕を行う。</li></ul>	/ <del>*</del> -		縮小	Ιi	以降のは近歩	道等の適切な約 対な施設の修約		<b>o</b> .			□ 縮小	市長査定	・財務部査定のとおり					
考え方・観光課所管の森林公園大倉滝廃止により、施設の一部を大倉地区(清見)の生 (担当課) 活環境保全林として管理を行う。					考え方(担当課)	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □					の考え方								
10/1/				R5完了	.							□ R6完了							
				R6完了予定	足							□ R7完了予定							

25.森林政策課 xlsx\_14 53250

事	業	シー	۱-۱	(令)	和64	年度	[決	算)
---	---	----	-----	-----	-----	----	----	----

	<b>業名</b> 53260 100年先の森林づくり推進事業費			会計	1	一般会計		重点戦略	方向性			+8 +bn =1 imi	森林整備計画、過疎地域持続的発展計画
事業名			0年先の森林づくり推進事業費 予 款 5 農林水産業費		総合計画		ポイント			依拠計画	林怀奎调乱画、迥珠地域行机的光放乱画		
			算	項	3	林業費	今日日回	分野別	政策分野	5	畜産・労働・プロモーション	市長公約	
担当課	森林・環境政策部 森林政策課 内線	1線 263	1	目	2	林業振興費		ノリモアかり	施策分野	(1)	農業・林業・畜産業	山文文小	

#### 1.事業の目的・概要(Plan)

・市内の森林を、森林環境譲与税を活用し、将来目標とする4つの姿(木材生産林、環 境保全林、観光景観林、生活環境林)にあわせた森林整備を実施し、水源林の保全や 目的 災害に強い森林づくりなどの森林の有する公益的機能増進を図る。

森林環境譲与税を活用した事業を実施

- ・森林推定地番図の作成により森林所有者等の特定を図り、個人所有の森林整備を加速化
- ・広葉樹材生産に向けた皆伐後の天然更新の状況や市有林の広葉樹等の資源量を把握
- ・スマート林業の推進による生産性の向上を図る
- ・森林施業の実施に不可欠な森林の現況調査、境界の明確化、作業路の改良に係る経費に対する補助

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R6目標
木材生産量	92,765m³	算定中	149,000m³
森林境界調査事業実施面積	662ha	746ha	1600ha
森林経営管理制度に基づき市が実施した森林整備面積	16.31ha	10.74ha	650ha

2 車業の宝施結里等(Da)

<u> 4. 尹 未</u>	●未の夫配和朱守(D0) (千円)												
		R	5		R	6							
	歳出事業費 (職員人件費を除く)	最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)	増減 (b)-(a)						
	(戦長八)丁泉と  尓\/	317,007	243,208	162,940	181,274	152,802	△ 90,406						
	国費 (												
特定財源	県費 ( 森林整備地域活動支援事業費 23/100、観光景観林整備事業費 ) 10/10 等	4,200	2,941	2,200	2,200	5,937	2,996						
	その他(森林環境整備基金繰入金)	29,338	83,605				△ 83,605						
一般見	対源	283,469	156,662	160,740	179,074	146,865	△ 9,797						
新規·拡充	主な事業内容												
	森林経営管理アドバイザー等の配置	27,640	28,127	30,640	30,640	26,562	△ 1,565						
O 1	森林情報管理システム構築、森林境界明確化の推進	142,000	126,852	44,000	44,000	39,104	△ 87,748						
O 2	森林資源等調査			5,000	5,000	2,134	2,134						
	森林整備の推進	92,000	57,771	40,000	40,000	34,001	△ 23,770						
スマート林業の推進		5,000	1,000	5,000	5,000	876	△ 124						
	作業道の修繕等に対する支援	26,000	25,345	26,000	26,000	24,557	△ 788						
	市民等との協働による森林整備の促進、林業・森林の普及啓発	5,000	3,086	10,000	10,000	5,162	2,076						

□ R5完了

□ R6完了予定

4. 令和7年度予	算編成(Action	)	(千円)					
R7-	<b>予</b> 算	実施計画額	109,740					
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)					
114,340	109,740	109,740	△ 53,200					
9,090	2,200	2,200	0					
105,250	107,540	107,540	△ 53,200					
査定額		説明						
30,640								
22,000								
2,000	広葉樹資源量調査							
29,500	重点区域等森林整備、船山山頂眺望整備に係る測量設計							
3,000	スマート林業推進事業補助金							
20,000	森林作業道維持修繕事業補助金							
	R6年度事業終了							

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。 3.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

- ・森林経営管理アドバイザー等の配置 3名
- ·森林境界調查事業(滝町、丹生川町板殿、日面、国府町桐谷) 327ha
- ・森林情報管理システムのデータ整備(林地台帳の整備・地籍図データ取り込み)
- 事業実績 ・本道機能強化 17件

  - 市民提案型森林づくり推進事業 補助事業4件、委託事業5件
  - ·森林作業道維持修繕事業補助金 34件
  - ·スマート林業推進事業補助金(ICT測量機器購入補助) 2件
  - ·森林境界調査や森林推定地番図作成により森林所有者の特定や境界の確認が進んだ。
- ・森林経営管理アドバイザーの助言指導により森林所有者の林業経営や森林管理への意欲向上が図り れた。 評価等
- ・重点区域森林整備事業などにより災害に強い森林づくりを推進した。
  - ・ICT機器の導入や高性能林業機械等の貸出支援などによりスマート林業が促進が図られた。
  - 市民団体等の提案による森林づくりの促進が図られた。
- ✓ 維持·改善 ・森林整備や作業道等路網整備など、災害に強い森林づくりを行う。 □ 拡大 次年度・市民団体等と協働した木育等により、市民の森林や林業に対する理解の醸成 □ 縮小 以降の を図る。
- 考え方・県の支援が受けられない事業体に対し、高性能林業機械やICT機器の導入支 □ 廃止検討 (担当課) 援を行うことによるスマート林業を促進する。
  - ・広葉樹の資源量を把握するための市有林でのモデル調査を行う。

- 5.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施
  - ・森林経営管理アドバイザー等の配置 3名
  - ·森林境界調查事業(滝町、丹生川町日面、国府町桐谷) 84ha
  - ・森林推定地番図の作成 537ha
- 事業実績 ・重点区域森林整備事業 10.74ha
- ·林道機能強化 24件
  - 市民提案型森林づくり推進事業 補助事業9件、委託事業3件
  - ·森林作業道維持修繕事業補助金 28件
  - ・スマート林業推進事業補助金 4件
- ·森林境界調査や森林推定地番図作成により森林所有者の特定や境界の確認が進んだ。 ・森林経営管理アドバイザーの助言指導により森林所有者の林業経営や森林管理への意欲向上が図ら れた。 評価等
  - ・重点区域森林整備事業などにより災害に強い森林づくりを推進した。
  - ・ICT機器の導入や高性能林業機械等の貸出支援などによりスマート林業が促進が図られた。 市民団体等の提案による森林づくりの促進が図られた。
- ☑ 維持·改善 □ 拡大 次年度・森林整備や作業道等路網整備など、災害に強い森林づくりを行う。 縮小 以降の・県の支援が受けられない事業体に対し、高性能林業機械やICT機器の導入支 □ 廃止検討
- 考え方援を行うことによるスマート林業を促進する。 (担当課) · 広葉樹の資源量を把握するための市有林でのモデル調査を引き続き行う。 □ R6完了 □ R7完了予定

- 森林環境譲与税を活用した事業を実施
- ・森林経営管理制度により、森林の経営管理を円滑に行うために必要な経費を
- 担当課・重点区域森林整備事業など、災害に強い森林づくりに必要な経費を計上 予算要求・スマート林業の推進に必要な経費を計上
- ポイント・久々野地域振興策に必要な経費を計上
  - ・森林境界明確化、森林推定地番図の作成に必要な経費を計上
  - ・市産広葉樹材の活用等の検討を行うため市有林の広葉樹資源量等調査に必 要な経費を計上

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査 ・船山山頂眺望整備については、R7年度は測量調査のみの実施とする
市長査定の考え方	・財務部査定のとおり

事業名	53260 100年先の森林づくり推進事業費		□ R5新規	✓ R6新規		会計	1	一般会計	担当課	森林•環境政策部 森林政策課
尹未石	33200 100年九の森林 スペッ推進事業員	区分	□ R5拡充	□ R6拡充	又質	款	5	農林水産業費	担当床	林仲 埃克以來即 林仲以來林
枝番·内容	枝番・内容   1 森林情報管理システム構築、森林境界明確化の推進	区刀	□ その他重要事業	ŧ	l, <del>N</del>	項	3	林業費	内線	2632
权借 內谷	林林情報官項ングチム構案、林林境外明確1100推進					目	2	林業振興費	作成年月	R7.8

#### 事業の目的・概要(Plan)

アネツロ!	<b>木</b> ひ口的								
目的	森林情報管理システムを構築し、森林境界明確化を推進する。	概要	•森林推定地番図作成業務						

# [参考] R5決算(Do·Check) R6.8時点 (千円)

	777 1107	<del>// &gt;F / D 0 0</del>	1100117	110.029 ///	( 1 1 1 1 7	L 20
		当初				7
予算額	繰越					
	了异创	補正等				主
	最終				Τ.	
	決算	草額				
7	対前年度増	減額(決算)				対前
		•				※入ホ

	事業実績、評価等	
[事業実績]	7.400.00	
[評価等]		
		□ 維持·改善
次年度以降 の考え方 (担当課)		<ul><li>□ 拡大</li><li>□ 縮小</li><li>□ 廃止検討</li></ul>
		<ul><li>□ R5完了</li><li>□ R6完了予定</li></ul>

[参考] R6:	当初予算(A	ction)	R6.3時点	(千円)
予算額	当初			11,000
主な経費	委託料			
対前年度増減	額(当初予算)			11,000
※ 3 +1 /- 早/郷寸	てためい問に答	ナナンハナンビ	司畫少數(>2)寸	て担合も口

<i>y</i> 1	11 1-早/郷ナスナ	めの問に高させいたじ	記載省略(※)する場合を

事業内容、スケジュール
[事業内容] 森林推定地番図作成業務 ・地籍調査未完了の森林において、地形図上に公図を配置した「森 林推定地番図」を作成し、所有者探索や境界確認作業の効率化 により森林整備をすすめる。
[スケジュール] 森林推定地番図作成業務 6月 委託契約着手 翌3月 業務完了

R6決算(D	o•Check)	R7.8時点	(千円)
	当初		11,000
予算額	繰越		
了异做	補正等		1,181
	最終		12,181
決算	算額		12,181
対前年度増	減額(決算)		12,181

<i>7</i> (1)	算額			12,	,18
対前年度増	減額(決算)			12	18
	事業	実績、評価等			
·地籍調査 「森林推算 対象箇月	播図作成業務 未完了の森林に定地番図を作成 所 高山地域(八) 前に向け、所有者:	日町・前原等の	)一部)53	7ha	るこ
次年度以降 の考え方 (担当課)	引き続き、森林外名森林境界明確			維持·改善 養物 養物 養物 養物 養物 養物 養物 養物 養物 養物 養物 養物 養物	<u> </u>

R7当初予	算(Action)	(千円)
予算額	当初	17,000
主な経費	委託料	
対前年度増減	額(当初予算)	6,000

25\_森林政策課.xlsx\_16 53260-1

事業名	53260 100年先の森林づくり推進事業費		□ R5新規	✓ R6新規		会計	1	一般会計	担当課	森林·環境政策部 森林政策課
尹未石		区分	□ R5拡充	□ R6拡充	<b>文</b> 質	款	5	農林水産費	担当杯	林仲 埃克以來即 林仲以來林
枝番·内容	2 森林資源等調査	四刀	□ その他重要事業		了并	項	3	林業費	内線	2632
校街 内谷	2 林怀貝似寺间生					目	2	林業振興費	作成年月	R7.8

#### 事業の目的・概要(Plan)

次年度以降

の考え方

(担当課)

[参考] R5	<del>決算(Do•C</del>	heck)	R6.8時点	(千円)
予算額	当初			
	繰越			
	補正等			
	最終			
決算	草額			
対前年度増	減額(決算)			

[参考] R6:	当初予算(A	(ction	R6.3時点	(千円)
予算額	当初			5,000
主な経費	補助金			
対前年度増減	額(当初予算)			5,000
※入札に影響す	るため公開に適	さないなど	記載省略(※)する場	景合あり

R6決算(D	o•Check)	R7.8時点	(千円)
	当初		5,000
予算額	繰越		
7 异般	補正等		
	最終		5,000
決算	草額		2,134
対前年度増	減額(決算)		2,134

R7当初予:	算(Action)		(千円)
予算額	当初		2,000
主な経費	委託料		
対前年度増減	額(当初予算)		△ 3,000
※入村に影響す	スため公開に適	さないなど	記載公略(※)する場合なり

	事業実績、評価等	
[事業実績]		
[評価等]		

□ 維持·改善 □ 拡大

□ 廃止検討

□ R5完了□ R6完了予定

□ 縮小

	事業内容、スケジュール									
[事業内容]										
市有林における広葉樹資源量の調査 樹種や径級などの需要に応じた広葉樹材の利用拡大を図るため、スギ やヒノキの人工林と一体的に木材生産が行える市有林において広葉樹の 資源量を把握するための基礎調査を進める。										
[スケジュール] 令和6年6月 令和6年7月 令和6年10月~11月 令和7年3月	調査箇所決定 事業者選定 市有林広葉樹の資源量現地調査 調査成果提出完了									

	事業実績、評価等	
	<b>事本大根、㎡川寺</b>	
[事業実績]		
樹種や径級な やヒノキの人工	広葉樹資源量の調査 どの需要に応じた広葉樹材の利月 妹と一体的に木材生産が行える市 るため、市有林11箇所、計36プ	有林において広葉樹の
[評価等]		
	広葉樹資源の実態把握に向け調	査を行った。
	広葉樹の資源量を把握するための市有林でのモデル調査を	☑ 維持·改善
	行う。	□ 拡大
次年度以降 の考え方		□縮小
(担当課)		□ 廃止検討
		□ R6完了
		□ R7完了予定

当初予算)			△ 3,000
め公開に適な	さないなど、記	載省略(※)す	る場合あり
事業内容	3、スケジュー/	レ	
需要に応じた 体的に木材	:広葉樹材の利 生産が行える		
事業者選別		<b>祖</b> 州調杏	
	☑ 葉樹の資源量	現地調査	
	事業内容	事業内容、スケジューが 樹資源量の調査 需要に応じた広葉樹材の利 -体的に木材生産が行える めの基礎調査を進める。	事業内容、スケジュール 樹資源量の調査 需要に応じた広葉樹材の利用拡大を図る 体的に木材生産が行える市有林におい 対の基礎調査を進める。

25<sub>森</sub>林政策課.xlsx\_17 53260-2

事業シ	·一ト(令和6年度決算)						20	J_##1111#A	.px.xi3x_10										
		会言		设会計				重点戦略	方向性				根拠計	画 森林整備計	画、過疎地域持続的発	<b>美展計画</b>			
事業名	53300 分収造林整備事業費	予 款 第		5 農林水産業費			総合計画		ポイント	»	v.m								
+D 1/ ===	7.							分野別 🗕	政策分野 5 施策分野 (1	_	労働・プロモーション		市長公	約					
担当課		Н	3 7774	<b>以造林費</b>					他束万野(I	辰未**	外未"亩性未								
1.事業(	の目的・概要(Plan)														十画等 主な指標		R5実績	R6実績	R6目相
													木材生產	量			92,765m	算定中	149,000
													伐採され	た木材の利用	率		64%	算定中	50%
目的	<ul><li>・公的造林資本の導入により、森林資源を計画的に造成し、地域林業保全等を図る。</li></ul>	€の振興、国土	との 概要	•公的造材	林資本による	分収造林契	約森林におい	て、森林σ	)現況調査によ	り、間伐等	<b>痔の施業を実施する</b> 。								
	NET (Jella)																		
2 車業/	□ の実施結果等(Do)											(7.77)	1 会到	n7年度多	算編成(Action	<u>,                                      </u>			<u> </u> (千F
2. 于末、	<u>グス心和末守(DO)</u>				R5					R6		(千円)	7. TJ 4	<b>ロ/ 十/文 J</b> ** R7予		実施計	+画額		60,17
	歳出事業費		最	終予算	決	算 (a)	当初予算	算 (c)	最終予算		決算 (b)	増減 (b)-(a)	3	要求額	財務部査定額	市長査		増減	(d)-(c)
	(職員人件費を除く)			21,59	1	16,811		47,276	4	7,276	35,096	18,285	!	60,196	60,176		60,176		12,90
	国費(		)										i —						
特定財源				10.500		9,336		10.500	1	0.500	11,364	2,028		26.800	26.800		26,800		16.30
	その他(分収造林事業受託収入、物品売払収入		)	11,000		6,477		24,200		4,200	30,115	23,638	¦ —	23,050	27,500		27,500		3,30
én. B			,	•				-		-			!						
一般則				94	+	998		12,576	<u> </u>	2,576	△ 6,383	△ 7,381	i —	10,346	5,876		5,876		△ 6,70
新規·拡充	主な事業内容			40.00		45.405					22 = 12	45.000	1	<b>在定額</b>		説	明		
	分収造林の整備			19,87	2	15,125		39,000	3	9,000	30,513	15,388	i	50,500					
													i						
													i						
													i						
													:						
													i						
	 ※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場	合があります。											※入札に	影響するため公開	に適さないなど、記載省略	(※)する場合:	があります。		
3.令和5	5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施		$\downarrow$	i	5.令和	6年度事	業実績、	評価等	(Check)	R7.8	実施	. ↓							
事業実績	·保育間伐 32.27ha(清見地域·荘川地域) ·路網整備 1,110m(一之宮地域)				·保育間伐 ·除伐 ·搬出間伐	18.01ha(一ぱ 10.78ha(一之 11.05ha(荘川 1,695m(一;	之宮地域,国 宮地域,国M 川地域)	国府地域) 府地域)				   担当誤   予算要:   ポイン  	求 ⋅分収造林の	<b>D整備に必要な経費を</b>	計上				
評価等	・森林の現況調査により、計画的な間伐等森林施業を実施することが ・国立研究開発法人森林研究・整備機構(旧森林開発公団)と分収造森林整備も含めた管理委託について、協議・調整を行った。		的な管理を行う	管理を行うため、   評価等 ・国立研究開			現況調査により、計画的な間伐等森林施業を実施することができた。 究開発法人森林研究・整備機構(旧森林開発公団)又は県等と、分収造林地の効率的な管理 、森林整備も含めた管理委託について、協議・調整を行った。			<b>沐地の効率的な管理を</b>	な管理を 財務部 査定の 考え方・ ・積算内容を精査 ・せり売り売却単価の上昇等により売払収入			)売払収入を	人を精査				
次年度 以降の 考え方 (担当課)	・国等の補助制度を有効活用し、必要な施業を継続的に実施する。 ・国立研究開発法人森林研究・整備機構(旧森林開発公団)分収造材 について、分収林契約を見直し、管理業務の委託化をすすめる。	木地の管理	<ul><li>✓ 維持・改善</li><li> 拡大</li><li> 縮小</li><li> 廃止検討</li><li> R5完了</li><li> R6完了</li></ul>		次年度 以降の 考え方 (担当課)	·国立研究	開発法人森林	林研究・整備	要な施業を継 請機構(旧森林) 理業務の委託	開発公団)	)分収造林地の管理		市長査りの考える		きのとおり				

25.森林政策課 xlsx\_18 53300